

研究論文

## ニューファンドランド・メモリアル大学 M.Ed.プログラムに関する一考察

平田 淳

### A Study on the M.Ed. Program of Memorial University of Newfoundland

Jun HIRATA

【要約】ニューファンドランド・メモリアル大学の M.Ed.プログラムは、カウンセリング心理学、カリキュラムティーチング&ラーニング、教育リーダーシップ、教育工学、中等後教育、読みの発達と教授（RDI）の6専攻において提供されている。修了までのルートとしては、コースルート、インターンシップルート、プロジェクトルート、ペーパーフォリオルート、学位論文ルートの5ルートがある。

【キーワード】ニューファンドランド&ラブラドル（NL）州、メモリアル大学、M.Ed.プログラム

#### はじめに

2018年度から5か年計画で開始した科研費研究である本プロジェクト「カナダの大学院における教育専門職向け学位プログラムの教育効果に関する調査研究」は、コロナ禍によって2020年から2022年までの3年間は海外渡航が制限されていたため現地調査ができず、ウェブ上の情報を主たるデータとして研究を進めるしかなかった。2023年9月、ようやく4年ぶりに現地調査を行うことができたが、3年のブランクがあったため、期間を延長と再延長で合計2年延ばし、今年度が最終年度となった。本プロジェクトではこれまで M.Ed.と Ed.D.の両プログラムを提供している大学を中心に研究を進めてきたが、そのためか対象がオンタリオ州、アルバータ州、ブリティッシュ・コロンビア（BC）州に偏ってしまい、カナダ東部を対象としてこなかった。そこで最終年度となる今年度は、Ed.D.プログラムは提供していないものの、カナダ東部にある大学の M.Ed.プログラムを対象とし、太平洋から大西洋までを横断する形でカナダの教育専門職向け学位プログラムのあり様を比較することを試みることにした。本稿では、カナダの最東端に位置し、カナダ連邦に参加したのが1948年と諸州の中で最後となったニューファンドランド&ラブラドル（Newfoundland & Labrador: NL）州唯一の大学である「ニューファンドランド・メモリアル大学（Memorial University of Newfoundland）」（以下「メモリアル大学」）の M.Ed.プログラムを検討対象とし、その内容を明らかにすることを目的とする。

#### 1. メモリアル大学の歴史と現在の概要

##### (1) 設立の経緯

メモリアル大学のウェブサイト<sup>1</sup>では、同大学設立の経緯を次のように説明している。

メモリアル大学の起源はニューファンドランド政府が「高等教育評議会（Council of Higher Education）」を設立した1893年まで遡る。当該評議会の初期のビジョンの1つは、「ニューファ

<sup>1</sup> <https://www.mun.ca/main/history/>（2024年6月11日採取）。

ンドランド大学」の卒業生に授与される学位を見ることであった。しかしこの夢は、続く 20 年以上もの間、経済的・政治的理由により弱体化した。

1919 年になると、ローズ・スカラーシップ (Rhodes Scholarship) が、ニューファンドランドの学生は奨学金を受給する資格を得る前に少なくとも大学の 2 年生までを修了することを求めるようになった。富裕層の家庭がカナダやアメリカの大学に子どもを就学させる余裕があったのに対し、ローズ・スカラーシップはほとんどのニューファンドランドとラブラドルの学生を検討から除外していた。そして再度、ジュニア・カレッジ設立という考えが、進歩的ニューファンドランド人の想像力を捕らえた。高等教育評議会はニューファンドランドのエドワード・モリス (Edward Morris) 首相に、当地の学校教育の最高レベルを大学 2 年生と同等に引き上げること示唆する提案書を送付した。政府はその提案書を数週間以内に承認した。

その後、世界は戦争に突入した。

第一次世界大戦がニューファンドランドとラブラドルに及ぼした悲惨なインパクトは要約のしようがない。ニューファンドランド人とラブラドル人から構成される「ロイヤルニューファンドランド連隊 (Royal Newfoundland Regiment)」は悲惨な犠牲を被った。ニューファンドランド&ラブラドルはその小規模人口のため、被った人的損失の大きさは理解しがたく、衝撃的であった。

しかしこの圧倒的喪失感と共に到来したのは、名誉と記憶に対する深い必要性であった。戦後すぐに、高等教育機関が倒れていった人々にとっての生きた記憶として存立し得ると多くの人々が感じた。このようにして、メモリアル・ユニバーシティカレッジがより明るい未来の約束とともに過去に敬意を払うために 1925 年に設立された。<sup>2</sup>

## (2) 大学の現状

現在のメモリアル大学は、州都であるセントジョンズ (St. John's) にある「セントジョンズ・キャンパス (St. John's Campus)」, 同州コーナーブルック (Corner Brook) にある「グレンフェル・キャンパス (Grenfell Campus)」, セントジョンズの「ニューファンドランド・メモリアル大学漁業海洋研究所 (Fisheries and Marine Institute of Memorial University of Newfoundland)」, イギリスのイングランドにある「ハーロウ・キャンパス (Harlow Campus)」, 2018 年に新たにセントジョンズに建設されたシグナルヒル・キャンパス (Signal Hill Campus), ラブラドル地方のハッピーバレー・グースベイ (Happy Valley-Goose Bay) にある「ラブラドル・キャンパス (Labrador Campus)」の 6 キャンパスから成る総合大学である<sup>3</sup>。図 1 は、各キャンパスの立地である。

メモリアル大学ウェブサイトの「Key Facts and Figures」のページ<sup>4</sup>には、2023 年 9 月 20 日時点での学生人口の各分類が掲載されている。図 2 は過去 5 年間の全学生数の推移であり、約 19,000 名でほぼ横ばいである。2023 年を見てみると、全学生数が 18,896 名、そのうち学部生が 13,481 名、大学院生が 4,693 名、ディプロマや証明書 (Certificates) コースの学生が 468 名、大学院修了生 (Postgraduate) が 254 名となっており、学部生が約 71%、大学院生が約 25%を占めていることになる。図 3 は出身地別学生数である。正規の学位プログラム在籍者 (上記の学部生+大学院生) 18,174 名中、ニューファンドランド

<sup>2</sup> 直接引用だが、ウェブサイト上の記述のため、頁の特定不能。以下、直接引用箇所には頁の特定がない場合、同様の理由による。

<sup>3</sup> <https://www.mun.ca/main/campuses/> (2024 年 6 月 11 日採取)。

<sup>4</sup> <https://www.mun.ca/report/key-facts-and-figures/> (2024 年 6 月 11 日採取)。

&ラブラドル出身者が11,264名(62.0%),カナダの他州出身者が2,021名(11.1%),留学生が4,889名(26.9%)となっている。図4は、大学院の研究科別学生数である。4,693名中、最も多いのが「エンジニアリング&応用科学」で1,027名(21.9%)であるが、教育学系は2番目に多く842名(17.9%)となっている。学位プログラム別学生数については、記載はない。

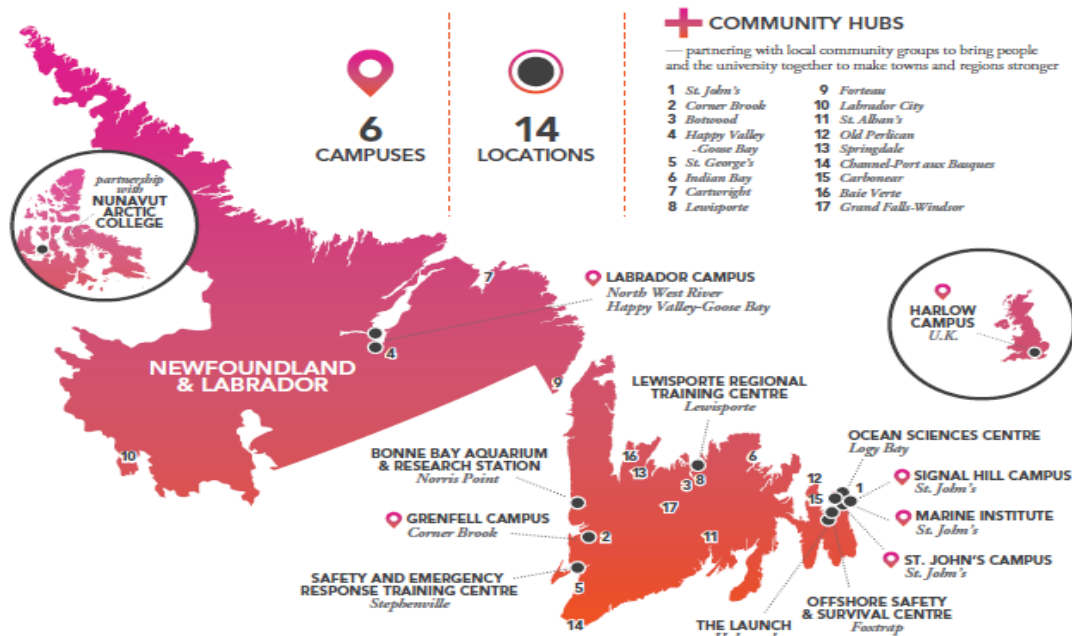
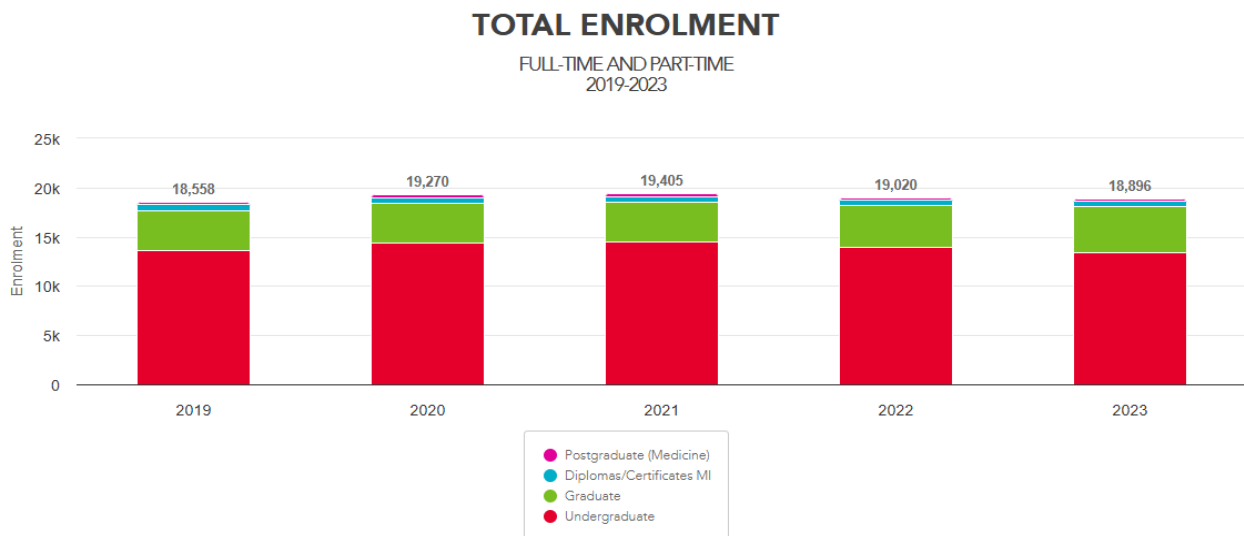


図1 各キャンパスの位置

出典：<https://mun.ca/main/media/production/memorial/main/files/fast%20facts.pdf> (2024年6月11日採取)。



\*Includes full-time and part-time enrolments in graduate, undergraduate, diploma, certificate and postgraduate (Medicine) programs at the end of regular registration, Sept. 20, 2023.

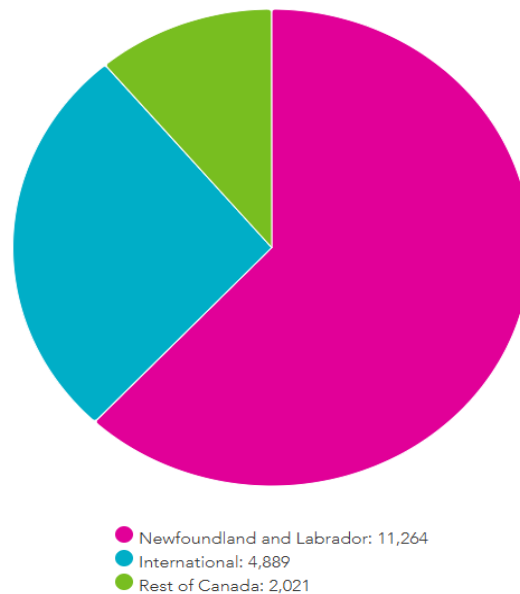
図2 過去5年間の学生数の推移

出典：<https://www.mun.ca/report/key-facts-and-figures/> (2024年6月11日採取)。

## TOTAL UNDERGRADUATE AND GRADUATE ENROLMENT

BY PLACE OF RESIDENCE - FALL 2023

TOTAL ENROLMENT\*: 18,174



\*Includes full-time and part-time students at the end of regular registration, Sept. 20, 2023.  
Does not include diploma, certificate and postgraduate (Medicine) programs.

図 3 大学院研究科別学生数

出典： <https://www.mun.ca/report/key-facts-and-figures/> (2024 年 6 月 11 日採取)。

## 2. M.Ed.プログラム概要

メモリアル大学教育系大学院学位プログラムとしては、修士課程として M.Ed.が「カウンセリング心理学 (Counselling Psychology)」専攻、「カリキュラムティーチング&ラーニング (Curriculum Teaching and Learning Studies: CTLS)」専攻、「教育リーダーシップ (Educational Leadership Studies)」専攻、「教育工学 (Educational Technology)」専攻、「中等後教育 (Post-Secondary Education)」専攻、「読みの発達と教授 (Reading Development and Instruction: RDI)」専攻の 6 専攻において提供されている。更に、M.A.Ed. (Master of Arts and Education (Education and Francophone Literature and Cultures) プログラムが、教育学部と人文社会科学部現代語文学文化専攻 (Department of Modern Languages, Literatures and Cultures, Faculty of Humanities and Social Sciences) との協働で提供されている。博士課程としては Ph.D.があるのみで、Ed.D. プログラムはない<sup>5</sup>。本稿では、M.Ed.プログラムの 6 専攻に関してのみ検討することとする。

『2023-2024 大学カレンダー (2023-2024 University Calendar)』掲載の「M.Ed.学位及び教育学部卒業資格 (Graduate Diplomas in Education) 規則 (Regulations Governing the Degree of Master of Education and Graduate Diplomas in Education)」<sup>6</sup>には、M.Ed.プログラムの上記 6 専攻に共通する事項が記載されている。まず入学要件としては、メモリアル大学大学院全体としての要件、M.Ed.プログラムとしての要件、各専攻の要件の 3 つがあり、入学許可を得るにはこれらすべてをクリアしなければならない<sup>7</sup>。大学院

<sup>5</sup> <https://www.mun.ca/educ/programs/graduate-programs/> (2024 年 6 月 11 日採取)。

<sup>6</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/> (2024 年 6 月 16 日採取)。

<sup>7</sup> <https://www.mun.ca/educ/programs/graduate-programs/master/counselling-psychology/> (2024 年 6 月 12 日採取)。

全体の要件としては、修士課程に入学するための最低要件は学部課程の該当する専門領域において「第二級学位 (second-class degree)」<sup>8</sup>を取得していることとされている<sup>9</sup>。M.Ed.プログラムの要件としては、大学院全体の要件である学部レベルでの「第二級学位」を取得しているかあるいは学士号を有しておりかつ最後の90単位時間 (credit hour)<sup>10</sup>の成績が70%以上であること、特定の各専攻プログラムの要件を満たすこと、とされている<sup>11</sup>。各専攻の要件は、次節で検討する。修了要件は各専攻で異なるため、これも次節で述べる。修了までの期間としては、通常は6年以内とされている<sup>12</sup>。また、次に挙げるのは、M.Ed.プログラムで開講されている授業一覧である<sup>13</sup>。6専攻併せて152の授業が準備されている。どの科目を必修科目あるいは「限定的選択科目 (closed electives)」にするかは専攻によって異なるが、後述する通り「6100 Research Designs and Methods in Education」はすべての専攻において必修となっている。

- 6100 Research Designs and Methods in Education
- 6105 Social and Cultural Difference and Education
- 6106 Popular Culture and Literacy Education
- 6107 Arts Education: Creativity in the Classroom
- 6108 Literacy and Language Education: Sociocultural Perspectives
- 6192 Project in Reading Development and Instruction
- 6193 Project in Educational Technology (6 credit hours)
- 6202 Social Context of Educational Leadership
- 6203 Leadership: Theory and Practice
- 6204 Educational Administration: Theory and Practice
- 6205 Educational Policy: Theory and Practice
- 6290 Research and Development Seminar in Educational Leadership Studies
- 6291 Internship in Educational Leadership Studies (6 credit hours)
- 6292 Project in Educational Leadership Studies (6 credit hours)
- 6293 Paper Folio in Educational Leadership Studies (6 credit hours)

<sup>8</sup> NL州がカナダに編入されたのは1949年と10州の中で一番遅く、それまではイギリス領であったため、現在でもイギリス流が色濃く残っている。その影響で大学での成績評価方法もイギリスの方法が採用されているものと思われる。イギリス方式では、学位は成績によって「優等学位 (honours degree)」と「普通学位 (ordinary degree)」に分類され、優等学位は「第一級優等 (70%以上)」、「上位第二級優等 (60-70%)」、「下位第二級優等 (50-60%)」、「第三級優等 (40-50%)」から構成され、第三級優等未満は「普通学位」となる。  
<https://www.ucl.ac.uk/students/certificates-results/uk-honours-degree-system-undergraduates> (2024年6月12日採取)。  
つまり、「第二級学位」とは「上位第二級優等」と「下位第二級優等」を合わせたものである。

<sup>9</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/4/1/#4.1.2> (2024年6月12日採取)。

<sup>10</sup> 単位時間 (credit hour) とは、メモリアル大学の単位のカウント方法であり、通常は1授業が3単位時間となっている。つまり「90単位時間」とは、30科目に相当する。<https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/3/4/#3.4.3> (2024年6月16日採取)。

<sup>11</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/1/> (2024年6月12日採取)。

<sup>12</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/3/> (2024年6月16日採取)。

<sup>13</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/9/> (2024年6月16日採取)。

- 6300 Teaching and Learning
- 6321 Supervisory Processes in Education
- 6330 Educational Finance
- 6335 Legal Foundations of Educational Administration
- 6390 Research and Development Seminar in Curriculum, Teaching and Learning Studies
- 6391 Internship in Curriculum, Teaching and Learning Studies (6 credit hours)
- 6392 Project in Curriculum, Teaching and Learning Studies (6 credit hours)
- 6393 Paper Folio in Curriculum, Teaching and Learning Studies (6 credit hours)
- 6394 Biographical Explorations of Teaching and Learning
- 6410 Seminar on Philosophical Issues in Educational Policy and Leadership
- 6420 Ethical Issues and Perspectives in Educational Practice and Policy
- 6425 Comparative Perspectives in Public Education, Reform, and Leadership
- 6426 Computer Applications in Educational Administration
- 6427 School Community Partnerships
- 6440 Family-School Relations: Leadership and Policy Implications
- 6461 Graduate Research Writing
- 6462 Cultural Landscapes, Knowledge and Pedagogy
- 6463 Relationships First: Rethinking Educational Engagement (credit may be obtained for only one of 6463 or 6936)
- 6465 School Violence: Leadership and Policy Implications
- 6466 Qualitative Research Methods
- 6467 Quantitative Research Methods
- 6468 Critical Approaches to Educational Research
- 6469 Theoretical and Methodological Foundations of Action Research
- 6470 Word and Sentence Level Reading Development and Instruction
- 6471 Text-level Reading Development and Instruction (prerequisite: ED 6470)
- 6472 Issues and Interventions in Reading Development and Instruction for Diverse Learners (prerequisites: ED 6470, ED 6471)
- 6473 Praxis for Reading Teachers (prerequisites: ED 6470, ED 6471, ED 6472)
- 6502 Contexts of Music Education
- 6503 Teaching Music from the Podium
- 6504 Musicianship, Pedagogy, and Learning
- 6590 Research and Development Seminar in Information Technology in Education
- 6600 Learning and Motivation
- 6602 Curriculum Studies
- 6603 Place, Ecology and Education
- 6610 Research on Computers in the Curriculum
- 6612 Integration of Instructional Design and Educational Technology at CBU
- 6614 Technology Planning for Educational Environments at CBU
- 6615 Educational Software Prototyping and Evaluation

- 6617 Digital Citizenship in a Global Community at CBU
- 6620 Issues and Trends in Educational Computing
- 6630 Critical Issues in Mathematics Education
- 6632 Current Research in Teaching and Learning of Elementary School Mathematics (prerequisite: 6630)
- 6634 Teaching and Learning to Solve Mathematics Problems (prerequisite: 6630)
- 6635 Teaching and Learning Geometry
- 6636 Teaching and Learning the Concept of Number and Operations
- 6639 Technology and the Teaching and Learning of Mathematics (prerequisite: 6630)
- 6641 Writing in the Primary, Elementary and Secondary Schools
- 6642 Developmental Reading (K-8)
- 6643 Contemporary Issues in Intermediate and Secondary English
- 6644 Drama in Education
- 6645 Literature for Children and Adolescents
- 6646 Literature in the Secondary School
- 6647 Diagnosis and Remediation of Reading and Writing Difficulties
- 6649 Exploring Multiple Literacies
- 6653 Contemporary Issues in Science Education I
- 6655 The Nature of Science and Science Education
- 6658 Teaching and Learning Scientific Concepts, Laws, and Theories
- 6660 Information Technology
- 6661 Applications of Media in Education
- 6662 Research Seminar in Teacher-Librarianship
- 6663 The Organization of Learning Resources
- 6664 Seminar in School Improvement
- 6668 Current Issues in Second Language Education
- 6669 Graduate Seminar in Second Language Teaching and Learning
- 6670 Teaching and Learning Social Studies
- 6671 Research in Social Studies Education
- 6672 Issues and Trends in Social Studies
- 6673 Second Language Teaching, Learning and Curriculum (credit may be obtained for only one of Education 6673, the former 6665 or 6667)
- 6674 Research in Second Language Writing Education
- 6675 Current Issues in Rural Education
- 6676 Research and Practice in TESL/TEFL (Teaching English as a Second/Foreign Language)
- 6693 Literacy for the Young Child in Home and School
- 6700 Ethical and Legal Issues in Counselling
- 6701 Issues and Methodologies in Learning and Developmental Research
- 6702 Counselling: Individuals Across the Lifespan Theory (co-requisite ED 6721)
- 6705 Nature and Development of School Counselling Services



- 6706 Career Education and Career Counselling
- 6708 Group Counselling: Theory (co-requisite ED 6723)
- 6709 Assessment of Intelligence and Learning Skills
- 6710 Issues in Development and Implementation of Special Education Policy and Practices
- 6711 Behaviour Modification in the Educational Setting
- 6712 The Nature and Assessment of Behaviour Disorders in Children and Adolescents
- 6713 Educational Applications of Contemporary Cognitive Psychology
- 6714 Principles and Practices in Exceptionality
- 6715 The Theory and Practice of Peer Helping Programs
- 6716 Working with Families and Parents
- 6717 Counselling Adolescents
- 6718 Elementary School Counselling
- 6719 Cultural Issues in Counselling
- 6720 Internship in Counselling Psychology (7.5 credit hours)
- 6721 Counselling Individuals Across the Lifespan Lab (1.5 credit hours)
- 6722 Assessment of Learning and Achievement for Counsellors
- 6723 Group Counselling Lab (1.5 credit hours)
- 6724 Assessment of Learning and Achievement for Counsellors Lab (1.5 credit hours; Pass/Fail)
- 6725 Practice of Assessment for Counsellors Theory
- 6726 Practice of Assessment for Counsellors Lab (1.5 credit hours; Pass/Fail)
- 6727 Diverse and Intersecting Identities
- 6729 Counselling in Context
- 6730 Biological Basis of Behaviour and Trauma Informed Practice
- 6731 Contemplative and Ecological Perspectives in Counselling
- 6732 Pre-Internship in Counselling Psychology (1.5 credit hours; Pass/Fail)
- 6733 Advanced Individual Counselling Lab (1.5 credit hours)
- 6755 Nature and Assessment of Learning Disabilities
- 6790 Research and Development Seminar in Counselling Psychology
- 6801 Foundations of Post-Secondary Programs
- 6802 Adult Learning and Development
- 6803 Research in Post-Secondary Education
- 6804 Leadership and Human Resource Development in Post-Secondary Education
- 6805 Advanced Human Resource Communications
- 6806 Interprofessional Education in the Health Professions
- 6807 Economics and Finance of Post-Secondary Education
- 6808 Supporting international and immigrant students
- 6809 Internationalization of Higher Education
- 6810 Assessment and Evaluation in Student Services
- 6811 Theoretical Foundations in Adult/Post-Secondary Teaching and Learning



- 6822 Foundations of Instructional Design in Post-Secondary Education
- 6823 Principles of Program Design and Development
- 6831 Organization and Administration of Student Services for the Adult Learner
- 6832 Issues and Trends in the Administration of Post-Secondary Education
- 6841 Student Development Theory, Services and Programs in Post-Secondary Education
- 6890 Research and Development Seminar in Post-Secondary Studies
- 6891 Internship in Post-Secondary Studies (6 credit hours)
- 6900-6910 Special Topics (excluding 6909)
- 6909 Narrative Approaches to Teaching, Learning and Research
- 6911 Multiage Education: An Introduction
- 6912-6950 Special Topics (excluding 6913, 6923, 6924, 6927, 6931, 6932, 6936, 6938, and 6940)
- 6913 Putting Action Research Methodologies into Practice (prerequisite: 6469 Theoretical and Methodological Foundations of Action Research)
- 6922 Blended and Online Learning at CBU
- 6923 Perspectives in Indigenous Education
- 6924 Decolonizing Pedagogies
- 6927 Digital Game-based Learning
- 6931 Educational Technology Law
- 6932 Intellectual Technology Law in Teaching and Learning
- 6938 Advanced Individual Counselling: Theory (2 credit hours; co-requisite ED 6733)
- 6940 Administration of Student Services in Post-Secondary Education
- 6942 Designing Distributed Learning at CBU
- 6944 Data Informed Education at CBU<sup>14</sup>

次節では、M.Ed.プログラムの6領域の内容について、それぞれ見ていくこととする。

### 3. 各専攻の内容

#### (1) カウンセリング心理学 (Counselling Psychology)

M.Ed.カウンセリング心理学プログラムは、知識に溢れ、技術があり、献身的で倫理的な専門職実践家であり、生涯を通して人間の潜在能力を高める努力をし、多様な教育的及びコミュニティ的セッティングの中で効果的に実践できる実践家を養成するようデザインされている。当該プログラムを修了すると、修了生は「カナダ有資格カウンセラー (Canadian Certified Counsellors: CCC)」となる資格を得るための「カナダ・カウンセリング及び精神療法協会 (Canadian Counselling and Psychotherapy Association: CCPA)」の要件を満たすことになる。

M.Ed.カウンセリング心理学プログラムはコーホート形式 (cohort model) を採用しており、連続する9セメスターを超えて、毎夏少なくとも4週から成る夏季スクーリング3回を含む形で提供される。春－夏セッションで提供される授業を除くすべての授業はオンラインで行われ、そのうちいくらかは多く

<sup>14</sup> 各授業の概要は、次の URL を参照されたい。 <https://www.mun.ca/educ/programs/graduate-programs/course-descriptions/#6193> (2024年6月16日採取)。

のリアルタイムでのオンライン授業（synchronous online class sessions）で行われる秋・冬・春学期に提供される。「大学院規則（School of Graduate Studies Regulations）」に従って、週の就業時間が 24 時間に満たない学生はフルタイム学生となれる。つまり、働きながらの就学を想定している。フルタイム学生は奨学金やその他の形態の基金に申請できるが、9 セメスターを超えて修了される（10 セメスターは在籍しなければならない）というプログラムの修了期間を変えることはできない<sup>15</sup>。

入学要件としては、メモリアル大学大学院全体としての要件と M.Ed.プログラムとしての要件は上述の通りであり、カウンセリング心理学専攻の要件としては、次に挙げる学部での必修授業を修得していることとされている。

- ED 3210 Introduction to Counselling (or equivalent);
- ED 2900 Statistics (or equivalent);
- ED 3211 Career Education (or equivalent);
- ED 4240 Exceptionality (or equivalent) OR Abnormal Psychology 3640 or 3650 (or equivalent)
- Psychology 1000 Introduction to Psychology (or equivalent)
- Psychology 1001 Introduction to Psychology (or equivalent)
- カウンセリング心理学プログラムは、すべての必修は入学申請が提出される際に修得済みであるか受講中である必要がある。受講中である学生が入学許可を受ける場合は、必修の修得という条件付きの許可であるとみなされる。

学生は、学校や保健機関、コミュニティ・ベースの職場あるいはボランティア経験を少なくとも 1 年のフルタイムで完了しておかなければならず、当該職場体験を証明するための過去あるいは現在の雇用主からの公的な推薦状を提出することが求められる。この推薦状はすべての関連する労働あるいは経験が完了したことを確認するためのフルタイムでの勤務日数を示すものである。また、学生は履歴書と志望理由書を提出しなければならない。入学許可プロセスの一部として、面接が課される場合もある。犯罪歴証明書やその他のスクリーニング手続きは入学許可の条件としては要求されないが、カウンセリング心理学インターンをホストする学校や教育委員会、コミュニティ機関、保健機関、その他の機関により求められることに留意すべきとされている。そうしたインターンシップ機関は、犯罪歴等のスクリーニング手続きに問題がある場合は学生の受入れをせず、それは当該プログラムの修了を妨げることになる。結果として、そのような学生は進級や修了のための資格を有さないことになる。故に、当該プログラムの学生は、犯罪歴がない等の記録をインターンシップに参加する前に提出しなければならない、とされる<sup>16</sup>。

修了要件としては、まず次に挙げる授業の修得が挙げられている。表 1 はコアコース（必修科目）と選択科目のそれぞれ一覧である。学位論文ルート<sup>17</sup>の学生は、上述のコアコースすべてで 47 単位時

<sup>15</sup> <https://www.mun.ca/educ/programs/graduate-programs/master/counselling-psychology/>（2024 年 6 月 12 日採取）。

<sup>16</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.1.1>（2024 年 6 月 12 日採取）。

<sup>17</sup> 後述の CTLS と教育リーダーシップには、修了までのルートとしてコースルート（Comprehensive Course Route）、インターンシップルート（Internship）、プロジェクトルート（Project）、ペーパーフォリオルート（Paper Folio）、学位論文ルート（Thesis）の 5 つのルートがあり、学生は 1 つのルートを選択して単位取得を進めていくと説明されているが、他の 4 つのプログラムに関してはその様な説明はない。但し、ここに「学位論文ルート」という記述があるということは、同じように複数のルートから 1 つを選択することになっている可能性はある。

間、選択科目から3単位時間、12単位時間に相当する学位論文、トータルで62単位時間を修得しなければならない。コースルートの学生は、コアコース47単位時間に加えて選択科目を3単位時間、トータルで50単位時間を修得しなければならない。NLのK-12学校制度での就職を考えている学生には、「ED 6709 Assessment of Intelligence and Learning Skills (3 credit hours)」の修得が強く推奨されている。

表1 カウンセリング心理学プログラムのコアコースと選択科目

コアコース	○ ED 6100 Research Designs and Methods in Education (3 credit hours) (prerequisite: ED 2900)
	○ ED 6700 Ethical and Legal Issues in Counselling (3 credit hours)
	○ ED 6702 Counselling Individuals Across the Lifespan Theory (3 credit hours) (prerequisite ED 3210)
	○ ED 6706 Career Education and Career Counselling (3 credit hours) (prerequisite ED 3211)
	○ One of the following: <ul style="list-style-type: none"> <li>ED 6722 Assessment of Learning and Achievement for Counsellors (3 credit hours) and ED 6724 Assessment of Learning and Achievement for Counsellors Lab (1.5 credit hours), OR</li> <li>ED 6725 Practice of Assessment for Counsellors Theory (3 credit hours) and ED 6726 Practice of Assessment for Counsellors Lab (1.5 credit hours)</li> </ul>
	○ ED 6708 Group Counselling Theory (3 credit hours) (prerequisite ED 6702)
	○ ED 6720 Internship in Counselling Psychology (prerequisite ED 6732 and completion of all course requirements (7.5 credit hours))
	○ ED 6721 Counselling Individuals Across the Lifespan Lab (1.5 credit hours) (ED 6702 must be taken prior to or concurrently with ED6721)
	○ ED 6723 Group Counselling Lab (1.5 credit hours) (ED 6708 must be taken prior to or concurrently with ED 6723)
	○ ED 6727 Diverse and Intersecting Identities (3 credit hours)
	○ ED 6729 Counselling in Context (3 credit hours)
	○ ED 6730 Biological Basis of Behaviour and Trauma Informed Practice (3 credit hours)
	○ ED 6731 Contemplative and Ecological Perspectives in Counselling (3 credit hours)
	○ ED 6732 Pre-Internship in Counselling Psychology (1.5 credit hours)
	○ ED 6733 Advanced Individual Counselling Lab (1.5 credit hours) (prerequisite ED 6708; ED 6938 must be taken prior to or concurrently with ED 6733)
選択科目	○ ED 6938 Advanced Individual Counselling Theory (2 credit hours) (prerequisite ED 6708)
	○ ED 6394 Biographical Explorations of Teaching and Learning
	○ ED 6705 Nature and Development of School Counselling Services
	○ ED 6709 Assessment of Intelligence and Learning Skills (3 credit hours) (prerequisite ED 6722 and ED 6724. Students will not enroll in this course until the latter part of their program). Students intending to pursue a career in the K-12 school system in Newfoundland and Labrador are urged to take this course and the prerequisites.
	○ ED 6710 Issues in Development and Implementation of Special Education Policy and Practices
	○ ED 6712 The Nature and Assessment of Behaviour Disorders in Children and Adolescents
	○ ED 6713 Educational Applications of Contemporary Cognitive Psychology

○	ED 6714 Principles and Practices in Exceptionality
○	ED 6716 Working with Families and Parents
○	ED 6717 Counselling Adolescents
○	ED 6718 Elementary School Counselling
○	ED 6719 Cultural Issues in Counselling
○	ED 6790 Research and Development Seminar in Counselling Psychology
○	ED 6802 Adult Learning and Development

出典：<https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.1.1> (2024 年 6 月 12 日採取) の記述をもとに、筆者作成。

コアコースのうち「ED 6732 Pre-Internship in Counselling Psychology (1.5 credit hours)」は、プレ・インターンシップの授業であり、プログラム 1 年目に学生がインターンシップ先の指導員とつながる 50 時間のオリエンテーション・プレイスメントから構成される。インターンシップの授業である「ED 6720 Internship in Counselling Psychology (prerequisite ED 6732 and completion of all course requirements (7.5 credit hours))」は、フルタイムあるいはパートタイムで履修可能であり、患者との 240 時間の直接的サービスを含む 550 時間の現地でのインターンシップから構成される。インターンシップに給与は支払われず、学生の通常の就業の一部としては修得できない<sup>18</sup>。

## (2) カリキュラムティーチング&ラーニング (Curriculum Teaching and Learning Studies: CTLS)

CTLS プログラムのウェブサイト<sup>19</sup>によると、当該プログラムは、哲学的、歴史的、社会的、文化的、認知的、工学的といった多様な視点からこれら相互関連する領域における適切な事項を探究するための機会を学生に提供するものである。カリキュラム、ティーチング、ラーニングの概念的基盤は歴史的で現在の政策や実践の関連する例に沿って探究され分析される。当該プログラムは、批判的探究と省察的実践を強調しつつこれらの領域に関連する事項への広く基礎を置いた洞察力を開発することを奨励する。また、調査能力と専門職的な専門性及び実践を学生が開発し高めることを支援する。

CTLS プログラムには修了に至るまでに 5 つのルートがあり、学生は 1 つを選択することになる。表 2 は各ルートの内容を示している。「コンプリヘンシブコースルート (Comprehensive Course Route)」(以下「コースルート」とはコースワークのみで修了可能なルートである。「インターンシップ」と「プロジェクト」、「ペーパーフォリオ」はコースワーク 24 単位時間にそれぞれ「インターンシップ」と「プロジェクト」、「ペーパーフォリオ」に関する 6 単位時間の独自科目の修得が求められ、「学位論文」はコースワーク 18 単位時間に 12 単位時間に相当する学位論文の執筆が求められる。つまり、修了要件単位数はすべてのルートで 30 単位ということになる。

表 2 CTLS 修了までの 5 ルート

Route	Requirements (30 credit hours)
Comprehensive	30 credit hours

<sup>18</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.1.2> (2024 年 6 月 12 日採取)。

<sup>19</sup> <https://www.mun.ca/educ/programs/graduate-programs/master/curriculum-teaching-and-learning-studies/> (2024 年 6 月 12 日採取)。

Course Route	
Internship	24 credit hours + ED 6391: Curriculum, Teaching and Learning Studies (6 credit hours]
Project	24 credit hours + ED 6392: Project in Curriculum, Teaching and Learning Studies (6 credit hours)
Paper Folio	24 credit hours + ED 6393: Paper Folio in Curriculum, Teaching and Learning Studies (6 credit hours)
Thesis	18 credit hours + Thesis (12 credit hours)

出典：<https://www.mun.ca/educ/programs/graduate-programs/master/curriculum-teaching-and-learning-studies/>  
(2024年6月12日採取)。

また、学生は上述のルートと組み合わせる形で、オプション1 (Option 1) かオプション2 (Option 2) を選択しなければならない。つまり、例えば学生によっては「学位論文のオプション1」や「コースルートのオプション2」といった組み合わせになる、ということである。

オプション1においては、学生は次の研究領域のうち1つを選択することになる。

- 先住民教育と「場所に根差した教育」(Indigenous and Place-based Education)
- 言語リテラシー学 (Language and Literacy Studies)
- 数学教育 (Mathematics Education)
- 音楽教育 (Music Education)
- 理科教育 (Science Education)
- 第二言語教育 (Second Language Education)
- 社会正義教育 (Social Justice Education)
- 社会科教育 (Social Studies Education)
- 特別支援教育 (Special Education)
- 留意：特別支援教育に関する学士号あるいはそれと同等の学位の取得が要件とされる。  
登録は、学生は学位論文の執筆が求められるため、適切な学位論文指導が利用可能である研究上の焦点が明らかな申請者に限定される。
- 司書教諭 (Teacher-Librarianship)

オプション2においては、指導教員と協議の上、学生は自分の研究関心を示すプログラムの専門領域をデザインすることを選択することができる。CTLS 領域内の専門的焦点は多く、工学やウェブベースの教育 (web-based education)、芸術教育、僻地教育や複式学級教育 (rural and multi-age education) などを含む。学生は自分の学習目標に合致するプログラムを開発するために他の M.Ed.プログラムで提供されている授業から適切なものを選択することができる。このオプションに関心のある学生は、自分の研究関心を探究し焦点付け、指導教員とこれら関心について議論することが強く推奨される。

入学に際しての CTLS 独自の要件としては、適当と思われる範囲及び数の授業を修得していること、最低でも2年間の教職あるいはそれに関連する経験を有することが推薦されること、特別支援教育領域に関しては、特別支援教育に関する学士号あるいはそれと同等のものを修了していることが求められ、

適切な学位論文指導が利用可能な、研究の焦点が明らかな申請者に限定される<sup>20</sup>。

修了要件としては、まずすべての学生は次の 3 つの授業を修得しなければならない。即ち、「6100 Research Designs and Methods in Education」, 「6300 Teaching and Learning」, 「6602 Curriculum Studies」である。そのうえで、ルートやオプション等に応じて、次のような要件が設定されている。

- 学位論文ルートの学生は上記「6100 Research Designs and Methods in Education」は必須要件とした上で、次の選択肢のうち 1 つを修得しなければならない。即ち、「6466 Qualitative Research Methods」, 「6467 Quantitative Research Methods」, 「6468 Critical Approaches to Educational Research」, 「6469 Theoretical and Methodological Foundations of Action Research」, 「6909 Narrative Approaches to Teaching, Learning and Research」, 及び「大学院で提供される科目で、当該学生のプログラムに相当であると思われる授業を少なくとも 2 科目」のうち 1 つ選択することになる。
- オプション 2 を選択した学生は、入学後最初の学期に指導教員との協議を通して指定された科目を選択しなければならない。
- オプション 1 の数学教育領域を選択した学生は、他の数学教育専門科目を修得する前に「6630 Critical Issues in Mathematics Education」を修得しなければならない。
- コースルートの学生は、次の 3 科目のうちいずれか 1 つを修得しなければならない。即ち、「6390 Research and Development Seminar in Curriculum, Teaching and Learning Studies」, 「6394 Biographical Explorations of Teaching and Learning」, 「6913 Putting Action Research Methodologies into Practice (prereq. 6469)」である。
- 要件単位数を満たすために、学生は選択された当該科目が当該学生のプログラムに相当である場合には、大学院のどの科目からでも選択科目を選択できることになっている。

また、表 3 に示すように、オプション 1 の各研究領域にはそれぞれに特化した授業が設定されており、各研究領域の学生は上述の必修科目以外はそれぞれの領域の授業を中心に履修することになるが、上述のとおり適当とみなされる場合は、他の領域あるいは専攻の授業を選択することもできる<sup>21</sup>。

表 3 オプション 1 各研究領域のコアコース

○ Indigenous and Place-based Education
・ 6394 Biographical Explorations of Teaching and Learning
・ 6462 Cultural, Landscapes, Knowledge and Pedagogy
・ 6603 Place, Ecology, and Education
・ 6923 Perspectives in Indigenous Education
・ 6924 Decolonizing Pedagogies
○ Language and Literacy Studies
・ 6106 Popular Culture and Literacy Education
・ 6108 Literacy and Language Education: Sociocultural Perspectives

<sup>20</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.2.1> (2024 年 6 月 12 日採取)。

<sup>21</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.2.2> (2025 年 1 月 14 日採取)。



<ul style="list-style-type: none"> <li>• 6641 Writing in the Primary, Elementary and Secondary Schools</li> <li>• 6642 Developmental Reading (K-8)</li> <li>• 6643 Contemporary Issues in Intermediate and Secondary English</li> <li>• 6645 Literature for Children and Adolescents</li> <li>• 6647 Diagnosis and Remediation of Reading and Writing Difficulties</li> <li>• 6649 Exploring Multiple Literacies</li> <li>• 6693 Literacy for the Young Child in Home and School</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Mathematics Education <ul style="list-style-type: none"> <li>• 6630 Critical Issues in Mathematics Education</li> <li>• 6634 Teaching and Learning to Solve Mathematics Problems (prerequisite E6630)</li> <li>• 6639 Technology and the Teaching and Learning of Mathematics (prerequisite E6630)</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Music Education <ul style="list-style-type: none"> <li>• 6502 Contexts of Music Education</li> <li>• 6503 Teaching Music from the Podium</li> <li>• 6504 Musicianship, Pedagogy, and Learning</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Science Education <ul style="list-style-type: none"> <li>• 6653 Contemporary Issues in Science Education I</li> <li>• 6655 The Nature of Science and Science Education</li> <li>• 6658 Teaching and Learning Scientific Concepts, Laws, and Theories</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Second Language Education <ul style="list-style-type: none"> <li>• 6668 Current Issues in Second Language Education</li> <li>• 6669 Graduate Seminar in Second Language Teaching and Learning</li> <li>• 6673 Second Language Teaching, Learning and Curriculum</li> <li>• 6674 Research in Second Language Writing Education</li> <li>• 6676 Research and Practice in TESL/TEFL (Teaching English as a Second/Foreign Language)</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Social Justice Education <ul style="list-style-type: none"> <li>• 6105 Social and Cultural Difference and Education</li> <li>• 6106 Popular Culture and Literacy Education</li> <li>• 6108 Literacy and Language Education: Sociocultural Perspectives</li> <li>• 6440 Family School Relations: Leadership and Policy Implications</li> <li>• 6463 Relationships First: Rethinking Educational Engagement (credit may be obtained for only one of 6463 or 6936)</li> <li>• 6465 School Violence: Leadership and Policy Implications</li> <li>• 6468 Critical Approaches to Educational Research</li> <li>• 6909 Narrative Approaches to Teaching, Learning and Research</li> <li>• 6913 Putting Action Research Methodologies into Practice (prerequisite: 6469 Theoretical and Methodological Foundations of Action Research)</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Social Studies Education <ul style="list-style-type: none"> <li>• 6670 Teaching and Learning Social Studies</li> <li>• 6671 Research in Social Studies Education</li> </ul> </li> </ul>



・ 6672 Issues and Trends in Social Studies
○ Special Education
・ 6710 Issues in Development and Implementation of Special Education Policy and Practices
・ 6712 The Nature and Assessment of Behaviour Disorders in Children and Adolescents
・ 6714 Principles and Practices in Exceptionality
・ 6755 Nature and Assessment of Learning Disabilities
○ Teacher-Librarianship
・ 6662 Seminar in Teacher-Librarianship
・ 6664 Seminar on School Improvement
○ Additional courses in the speciality areas are available.

出典：<https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.2.2> (2024 年 6 月 12 日採取) の記述をもとに、筆者作成。

### (3) 教育リーダーシップ (Educational Leadership Studies)

教育リーダーシップのウェブサイト<sup>22</sup>によると、プログラムは教育リーダーシップ、教育政策、教育経営における広範な事項を探究する機会を学生に提供し、学生は学校や教育委員会、中等後教育機関や政策分析を含む多様なセッティングにおけるリーダーシップ役割を果たす準備をすることができる。

教育リーダーシッププログラムにも、修了までのルートとして、コースルート、インターンシップルート、プロジェクトルート、ペーパーフォリオルート、学位論文ルートの 5 つがある。表 4 はそれぞれの内容である。修了要件単位数やコースワークとそれぞれのルートに特化した授業の割合は、CTLS と同様である。

表 4 教育リーダーシップ修了までの 5 ルート

Route	Requirements (30 credit hours)
Comprehensive Course Route	30 credit hours
Internship	24 credit hours + ED 6291: Internship in Educational Leadership Studies (6 credit hours)
Project	24 credit hours + ED 6292: Project in Educational Leadership Studies (6 credit hours)
Paper Folio	24 credit hours + ED 6293: Paper Folio in Educational Leadership Studies (6 credit hours)
Thesis	18 credit hours + Thesis (12 credit hours)

出典：<https://www.mun.ca/educ/programs/graduate-programs/master/educational-leadership-studies/> (2024 年 6 月 13 日採取)。

教育リーダーシップ独自の入学要件としては、適当と思われる範囲及び数の授業を修得していること、最低でも 2 年間の教職あるいはそれに関連する経験を有することが推薦されることとされている<sup>23</sup>。

<sup>22</sup> <https://www.mun.ca/educ/programs/graduate-programs/master/educational-leadership-studies/> (2025 年 1 月 14 日採取)。

<sup>23</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.3.1> (2024

修了要件<sup>24</sup>としては、まずすべての学生は次に挙げる授業を修得しなければならないとされる。

- 6100 Research Designs and Methods in Education
- 6203 Leadership: Theory and Practice
- 6204 Educational Administration: Theory and Practice
- 6205 Educational Policy: Theory and Practice and one of the following:
- 下記の限定的選択科目 (closed electives) リストの中から3 単位時間 (学位論文ルート)  
あるいは
- 下記の限定的選択科目 (closed electives) リストの中から3 単位時間 (インターンシッ  
プ, ペーパーフォリオ, プロジェクト, コースルート)

学位論文ルートの学生は、「6100 Research Designs and Methods in Education」は前提条件として、その他に次の4つの授業を修得しなければならない。即ち、「6466 Qualitative Research Methods」, 「6467 Quantitative Research Methods」, 「6468 Critical Approaches to Educational Research」, 「6469 Theoretical and Methodological Foundations of Action Research」である。コースルートの学生は、「6290 Research and Development Seminar in Educational Leadership Studies」を修得しなければならないが、通常は、学生はすべての他のコース要件を満たしたのち、あるいは最後の学期の間にのみ登録することが許可される。

通常の「選択科目」については、学生は選択された当該科目が当該学生のプログラムに相当である場合には、大学院のどの科目からでも選択科目を選択できることになっている。他方で、上述した「限定的選択科目」は、次に挙げる科目に限定される。

- 6202 Social Context of Educational Leadership
- 6321 Supervisory Processes in Education
- 6330 Educational Finance
- 6335 Legal Foundations of Educational Administration
- 6410 Seminar on Philosophical Issues in Educational Policy and Leadership
- 6420 Ethical Issues and Perspectives in Educational Practice and Policy
- 6425 Comparative Perspectives in Public Education, Reform, and Leadership
- 6426 Computer Applications in Educational Administration
- 6427 School Community Partnerships
- 6440 Family-School Relations: Leadership and Policy Implications
- 6465 School Violence: Leadership and Policy Implications
- 6664 Seminar in School Improvement
- 6710 Issues in Development and Implementation of Special Education Policy and Practices<sup>25</sup>

#### (4) 教育工学 (Educational Technology)

教育工学専攻は、ケイプ・ブレトン大学 (Cape Breton University: CBU) との提携において提供される

年6月13日採取)。

<sup>24</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.3.1> (2024年6月13日採取)。

<sup>25</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.3.1> (2024年6月13日採取)。

プログラムであり、広範に亘るセッティングで教育工学の教育的使用を推進するようデザインされている。当該プログラムは K-12 の教員、学校管理職、中等後教育制度の教員、民間企業、その他ほとんどの成人学習の教員を含むすべてのレベルの教育者にとって利益となるものとされている。当該プログラムのすべての授業はオンラインで配信され、対面式授業への出席は必要とされていない<sup>26</sup>。

入学許可について、当該専攻における選考に関しては、学業成績や関連する就業経験、関連する情報科学技術経験のような基準を含む受験者のプロフィールによって判断される、とされている<sup>27</sup>。

修了要件としては、まず次の授業は当該専攻の全学生の必修となっている。即ち、「6100 Research Designs and Methods in Education」、「6610 Research on Computers in the Curriculum」、「6620 Issues and Trends in Educational Technology」、「6942 Designing Distributed Learning at CBU」、「6617 Digital Citizenship in a Global Community at CBU」の 5 つである。その上で、ルートごとに修了要件が異なっている。

コースルートの学生は、以下に挙げるメモリアル大学限定選択科目から 2 つ、CBU 限定選択科目から 2 つ、それぞれ修得しなければならない。即ち、メモリアル大学限定選択科目としては、「6426 Computer Applications in Educational Administration」、「6615 Educational Software Prototyping and Evaluation」、「6802 Adult Learning and Development」、「6822 Foundations of Instructional Design in Post Secondary Education」、「6823 Principles of Programme Design and Development」、「6927 Digital Games Bases Learning」の 6 つであり、CBU 限定選択科目は「6922 Blended and Online Learning at CBU」、「6612 Integration of Instructional Design and Educational Technology at CBU」、「6614 Technology Planning for Educational Environments at CBU」、「6944 Data Informed Education at CBU」の 4 科目である。また、「6590 Research and Development Seminar in Educational Technology in Education」も必修とされている。但し、「6590」は通常、すべての他の修了要件を満たしたのちにのみ、履修が認められる<sup>28</sup>。合計すると、コースルートの学生の修了要件単位時間は、30 単位時間ということになる<sup>29</sup>。

プロジェクトルートの学生も、コースルートの学生同様、上述のメモリアル大学限定選択科目群から 2 科目、CBU の科目群から 2 科目を修得し、更に「6193 Project in Educational Technology」（6 単位時間）を修得しなければならない<sup>30</sup>。つまり、合計 30 単位時間である。

学位論文ルートの学生は、上述の CBU 限定選択科目 4 科目から 1 科目 3 単位時間を修得しなければならない。つまり、上述の必修 5 科目と併せて 6 科目 18 単位時間の修得が求められ、これに 12 単位時間分の学位論文を執筆することになる。学位論文執筆に際しては、メモリアル大学大学院の『学位論文とレポート (Theses and Reports)』<sup>31</sup>に従い、メモリアル大学の教員と CBU の教員各 1 名によって指導されることとされている<sup>32</sup>。

## (5) 中等後教育 (Post-Secondary Education)

<sup>26</sup> <https://www.mun.ca/educ/programs/graduate-programs/master/educational-technology/> (2025 年 1 月 14 日採取)。

<sup>27</sup> <https://www.mun.ca/educ/programs/graduate-programs/master/educational-technology/> (2024 年 6 月 14 日採取)。

<sup>28</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.5.2> (2024 年 6 月 16 日採取)。

<sup>29</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/2/> (2024 年 6 月 16 日採取)。

<sup>30</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.5.2> (2024 年 6 月 16 日採取)。

<sup>31</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/4/10/> (2024 年 6 月 14 日採取)。

<sup>32</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.5.1> (2024 年 6 月 14 日採取)。

中等後教育専攻は、研究や成人教育、専門職教育などを含む多様な非公式・公式の中等後学習環境への就職準備のためにデザインされている。プログラムはオンラインの遠隔教育で行われ、中等後教育制度の基礎、方向性、組織、運営の検討だけでなく、職業準備や成人教育のカリキュラム開発と指導開発オプションを通して中等後教育制度研究を推進するようにデザインされた授業から構成されている<sup>33</sup>。

中等後教育専攻の入学許可については、成人学習者の指導経験2年に加えて、特に保健関係の専門職プログラムの受験者は適切な学術資格と保健関連分野における就業経験があること、国際教育関連の受験者は適切な学術資格と国際化関連分野における就業経験があること、学生サービス関連のプログラム受験者は適切な学術資格と学生サービス職における就業経験があること、が要件として課されている<sup>34</sup>。

修了要件としては、第一にすべてのルートに共通して、プログラムコアを構成する次の授業の修得が求められる。まず、「6100 Research Designs and Methods in Education」は必修である。また、次に上げる4科目の授業から3科目（つまり9単位時間）を修得することとされている。即ち、「6801 Foundations of Post-Secondary Programs」、「6802 Adult Learning and Development」、「6803 Research in Post-Secondary Education (prerequisite 6100)」、「6811 Theoretical Foundations in Adult/Post-Secondary Teaching and Learning」である。また、次に挙げる「限定的選択科目」から6単位時間以上を修得する必要がある。

- 6804 Leadership and Human Resource Development in Post-Secondary Education
- 6805 Advanced Human Resource Communications
- 6806 Interprofessional Education in the Health Professions
- 6807 Economics and Finance of Post-Secondary Education
- 6808 Supporting International and Immigrant Students
- 6809 Internationalization of Higher Education
- 6822 Foundations of Instructional Design in Post-Secondary Education
- 6823 Principles of Program Design and Development
- 6831 Organization and Administration of Student Services
- 6832 Issues and Trends in the Administration of Post-Secondary Education
- 6841 Student Development Theory, Services and Programs in Post-Secondary Education
- 6940 Administration of Student Services in Post-Secondary Education

コースルートの学生は「6890 Research and Development Seminar in Post-Secondary Education」を、インターンシップルートの学生は「6891 Internship in Post-Secondary Education (6 credit hours)」を、それぞれ修得しなければならない。但し、両授業は通常は他のすべての要件が満たされた後にのみ履修可能とされている。また、修了のためには、インターンシップルートの学生とコースルートの学生は最低30単位時間、学位論文ルートの学生は18単位時間、それぞれ授業を履修することになる<sup>35</sup>。但し、インターンシップルートの30単位のうち24単位は授業であるが、残り6単位はインターンシップであり、学位論文ルートは授業18単位時間に12単位時間相当の学位論文が加算され、合計30単位の修得が求めら

<sup>33</sup> <https://www.mun.ca/educ/programs/graduate-programs/master/post-secondary-education/> (2024年6月16日採取)。

<sup>34</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.6.2> (2024年6月16日採取)。

<sup>35</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.6.2> (2024年6月16日採取)。

れる<sup>36</sup>。上記以外の授業科目については、当該学生のプログラムに適切であると考えられる場合、教育学研究科、メモリアル大学、あるいは他大学の授業であっても選択できる場合がある<sup>37</sup>。

#### (6) 読みの発達と教授 (Reading Development and Instruction: RDI)

RDI 専攻は、新たなオンラインプログラムであり、自分の専門学習をより深く開発し、読みに困難のある経験をもつ子どもの指導を含め、クラス規模での指導をより良く支援するために「読みの発達」に関する理解を深めることを望む学生向けにデザインされている<sup>38</sup>。

入学要件に関しては、大学院レベル及び M.Ed.プログラムレベルでの要件に明確に追加される要件は明示されていないが、「読みに困難を有する学習者の評価やリメディアル指導に関連する授業を修得している受験者が望ましい (Preference will be given to applicants with completed courses related to assessment and the remedial instruction of struggling readers.)」とされている<sup>39</sup>。

修了要件としては、プロジェクトルートは 24 単位時間＋プロジェクト報告書、学位論文ルートは 18 単位時間と学位論文であり、いずれも合計すると 30 単位時間ということになる<sup>40</sup>。内訳としては、まずすべてのルートについて、次の 5 科目が必修となっている。即ち、「6100 Research Designs and Methods in Education」、「6470 Word and Sentence-level Reading Development and Instruction」、「6471 Text-level Reading Development and Instruction (prerequisite: E6470)」、「6472 Issues and Interventions in Reading Development and Instruction for Diverse Learners (prerequisites: E6470, E6471)」、「6473 Praxis for Reading Teachers (prerequisites: E6470, E6471, E6472)」である。その上でプロジェクトルートは、言語リテラシー学 (Language and Literacy Studies) 領域の大学院、学部 (E6642 除く) あるいは大学院オフィスによって認められたその他の科目から 9 単位時間 (3 科目)、上記 5 科目と併せて 8 科目 24 単位時間を修得し、その上で「6192 Project in Reading Development and Instruction」(6 単位時間) を修得することになる。「6192」は、通常は上記コースワーク終了後に履修することになるものとであり、指導教員の指導の下、プロジェクトの概念化とライティングを促進するよう意図されている<sup>41</sup>。

### 4. メモリアル大学の特色と他大学との比較検討—結論に代えて—

以上、メモリアル大学 M.Ed.プログラムのあり様を見てきた。本節では本稿のまとめとして、本プロジェクトで対象としてきた他大学のあり様との比較を通して、メモリアル大学 M.Ed.プログラムの特色について検討することとする。

#### (1) 各専攻における修了までの複数のルート

これまで本プロジェクトで検討対象としてきた諸大学の M.Ed.プログラムにおける修了までのルート

<sup>36</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/2/> (2024 年 6 月 16 日採取)。

<sup>37</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.6.2> (2024 年 6 月 16 日採取)。

<sup>38</sup> <https://www.mun.ca/educ/programs/graduate-programs/master/reading-development-and-instruction/> (2024 年 6 月 16 日採取)。なお、RDI の詳細に関しては、「RDI プログラムブックレット (RDI program information booklet)」(<https://www.mun.ca/educ/programs/graduate-programs/rdi-program-information-booklet/#Part-3>) を参照されたい。

<sup>39</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.7.1> (2024 年 6 月 16 日採取)。

<sup>40</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/2/> (2024 年 6 月 16 日採取)。

<sup>41</sup> <https://www.mun.ca/university-calendar/school-of-graduate-studies/school-of-graduate-studies/17/8/#17.8.7.2> (2024 年 6 月 16 日採取)。



の選択肢を振り返ってみると、次のようになる。即ち、ブロック大学（Brock University）ではまずコースワークパスウェイとリサーチパスウェイに分類され、リサーチパスウェイはメジャーリサーチペーパー（Major Research Paper: MRP）オプションと学位論文オプションに分かれるため、選択肢は3つということになる（平田，2019）。トロント大学オンタリオ教育研究所（Ontario Institute for Studies in Education of the University of Toronto: OISE/UT）のリーダーシップ・成人教育・高等教育研究科（Department of Leadership, Higher and Adult Education: LHAE）教育リーダーシップ・政策（Educational Leadership and Policy: ELP）専攻では、コースワーク+MRP オプションとコースワークオンリーオプションの2つであった（平田，2020a）。ウェスタン大学（Western University）はコースワークのみで、複数のルートは存在しなかった（平田，2021）。アルバータ大学（University of Alberta）は、教育政策学（Educational Policy Studies）専攻に限定すると、コースベースのルート（コースワーク+キャッピング演習（Capping Exercises））と学位論文ベースのルートの2種類であった（平田，2023a）。カルガリー大学は、M.Ed. 学際領域（Interdisciplinary）（平田，2024a）と M.Ed. スペシャリスト（Specialist）（平田，2024b）を見てみると、コースベースのみになっている。ブリティッシュ・コロンビア大学（University of British Columbia: UBC）バンクーバー・キャンパス（Vancouver Campus）では、コースワークのみのオプションと、コースワーク+「修了ペーパー（Graduating Paper）」あるいは M.Ed.修了プロジェクト（M.Ed. Graduating Project）である「キャップストーン演習（Capstone Experience）」のオプションの2つがある（平田，2024c）。そしてブロック大学ではほとんどの学生がコースワークオプションであり（平田，2019b）、OISE/UT ではまず入学生はコースワークオンリーオプションに割り振られ、希望者のみ審査の上可能とみなされた場合に限ってコースワーク+MRP オプションに移動できるということであった（平田，2020）<sup>42</sup>。つまり、コースワークのみのルートで修了している学生が大半であろうということが、推測される。

これに対してメモリアル大学 M.Ed.プログラムでは、CTLS 専攻と教育リーダーシップ専攻では、修了までのルートとしてコースルート、インターンシップルート、プロジェクトルート、ペーパーフォリオルート、学位論文ルートの5ルートがあり、それぞれ修了要件が異なっている。しかし、少なくともウェブサイト上では、カウンセリング心理学専攻では学位論文ルート、コースルート、インターンシップルートのみ記述があり、プロジェクトルートとペーパーフォリオルートについては言及がない。教育工学専攻ではコースルート、プロジェクトルート、学位論文ルート、中等後教育専攻ではコースルート、インターンシップルート、学位論文ルート、RDI ではプロジェクトルートと学位論文ルートのみ言及があり、それぞれについて上述したルート以外には言及がない。その理由としては2つ考えられる。第一に、言及したコースしか設定されていない、つまり専攻によって選択肢の数が異なるということであり、第二にはすべての専攻において5つのルートが設定されているが、説明の便宜上 CTLS と教育リーダーシップ以外はすべてには言及していないということ、のいずれかである。前者であれば、専攻によってルートの選択肢が異なる根拠は何か、後者であれば、専攻によってはいくつかのルートの説明を省略したことになるがそれはなぜか、という課題が残る。またいずれの場合にせよ、それぞれのルートを選択する学生の割合や理由はどうなっているのかも、興味深い。いずれの場合であっても、他の大学と比べると、最大5つものオプションがあるというのは珍しく、これはメモリアル大学の特色と言えよう。

## （2） 修了要件の多様性－「インターンシップ」「プロジェクト」「ペーパーフォリオ」－

修了要件として、コースルートと学位論文ルートはその内容が何かは、他大学のカリキュラムからも

<sup>42</sup> 本プロジェクトで検討対象としてきた M.Ed.及び Ed.D.プログラムの傾向に関しては、（平田，2023b）を参照されたい。

明解である。他方で、「インターンシップ」や「プロジェクト」、「ペーパーフォリオ」とは何かは、判然としない。インターンシップとは、いわゆる「職場体験」が単位化されるものであり、例えば OISE の LHAE 研究科 ELP でも「cooperation program」というインターンシッププログラムが設置されている。ELP の場合、インターンシップの学生には給与も支払われるということで、学生には好評であるという（平田, 2024d）が、上述の通りメモリアル大学のインターンシップでは給与は支払われない。メモリアル大学のインターンシップがどのような内容なのかについては、ウェブ上の情報だけでは明確ではないが、M.Ed.という教育実践家向け学位プログラムならではの要件であろう。また、「プロジェクト」の内容がどうなっているのかについても、ウェブ上の情報からだけでは明らかではない。アルバータ大学の教育政策学専攻にある「キャッピング演習 Capping Exercise）」（平田, 2023a）や UBC の「キャップストーン演習（Capstone Experience）」（平田, 2024c）などについても、詳細な内容についてはウェブ上の情報からだけでは判然としないが、何らかの「プロジェクト・ベース」の内容であることは推測される。また、「ペーパーフォリオ」というのは、本プロジェクトでこれまで検討対象としたいいずれの M.Ed.プログラムでも見られないルートである。これも、メモリアル大学の特色の一つと言えよう。

### （3） 先住民関連の専攻や授業科目

上述の通り、メモリアル大学 M.Ed.プログラムには RDI という「読み（reading）」に特化した専攻があるが、こうした専攻は他大学の M.Ed.プログラムでは見られなかった。また、CTLS のオプション 1 には「Indigenous and Place-based Education（先住民と土地に基礎を置いた教育）」という研究領域があり、そのコアコースにも「6462 Cultural, Landscapes, Knowledge and Pedagogy（文化・地形・知識と教育学）」や「6603 Place, Ecology, and Education（土地・生態と教育）」、「6923 Perspectives in Indigenous Education（先住民教育の視点）」、「6924 Decolonizing Pedagogies（教育学の脱植民地化）」といった先住民教育に関連する授業が列挙されている。他の大学を見ると、例えば UBC のバンクーバー・キャンパスでは、先住民教育 M.Ed.（M.Ed. in Indigenous Education）が個別の学位プログラムとして設定されており（平田, 2024e）、同じく UBC のオカナガン・キャンパス（Okanagan Campus）の「オカナガン教育スクール（Okanagan School of Education）」の Ed.D.プログラムでは、植民地主義や組織的レイシズム、不公平（inequities）といったカナダの歴史への和解の一部として、リーダーシップや教育方法を脱植民地化するような「土地に根差した学習（place-based learning）」が提供されている（平田, 2024f）。2021 年国勢調査によると、州別の人口に占める先住民の割合は、10 州のうち最も高いのがマニトバ州の 18.1%、次がサスカチュワン州の 17.0%であり、3 番目に高いのが 9.3%の NL 州である。ちなみに BC 州は 5.9%であり、アルバータ州の 6.8%に次いで 5 番目と真中に位置するが、BC 州は州全体の人口が多いため割合としては低くなっているが、先住民人口はオンタリオ州に次いで 2 番目の規模であり<sup>43</sup>、特にオカナガンの地理的特性から、先住民教育に特化した Ed.D.プログラムが設置されているのだと推測される。いずれにせよ、州人口に占める先住民の割合の高さがこうした専攻を設置した理由であるとすれば、それはメモリアル大学の特色の一つと言えるであろう。

### 【参考文献】

- ・ 平田淳（2019a）「カナダ・ブロック大学大学院における MEd プログラムの制度設計と諸特徴」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第 3 巻、46－68 頁。
- ・ 平田淳（2019b）「カナダ・ブロック大学大学院における M.Ed.プログラムの実態の諸側面」『佐賀

<sup>43</sup> <https://www150.statcan.gc.ca/n1/daily-quotidien/220921/g-a001-eng.htm>（2024 年 6 月 18 日採取）。



大学大学院学校教育学研究科紀要』第3巻，69－91頁。

- ・ 平田淳（2020a）「トロント大学オンタリオ教育研究所における教育実践家向け学位プログラム（M.Ed.・Ed.D.）及び研究者向け学位プログラム（M.A.・Ph.D.）の類似点と相違点『リーダーシップ・高等・成人教育』研究科『教育リーダーシップと政策』プログラムを題材として」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第4巻，128－151頁。
- ・ 平田淳（2020b）「カナダ・オンタリオ州における教員給与制度に関する一考察」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第4巻，40－63頁。
- ・ 平田淳（2020c）「カナダ・オンタリオ州における管理職資格プログラムに関する一考察」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第4巻，88－109頁。
- ・ 平田淳（2021）「カナダ・ウェスタン大学（Western University）大学院におけるM.P.Ed.（Master of Professional Education）及びEd.D.（Doctor of Education）プログラムの比較分析」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第5巻，43－64頁。
- ・ 平田淳（2023a）「カナダ・アルバータ大学M.Ed.及びEd.D.プログラムに関する一考察」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第7巻，67－89頁。
- ・ 平田淳（2023b）『カナダのM.Ed.・Ed.D.プログラムに関する一考察－日本の教職大学院との比較の視点から－』日本教育学会第82回大会（2023.8.24）東京都立大学八王子キャンパス（オンライン）自由研究発表資料。
- ・ 平田淳（2024a）「カルガリー大学M.Ed.学際領域プログラムのカリキュラム・デザイン」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第8巻，2－25頁。
- ・ 平田淳（2024b）「カルガリー大学M.Ed.スペシャリスト・プログラムに関する一考察」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第8巻，26－47頁。
- ・ 平田淳（2024c）「ブリティッシュ・コロンビア大学バンクーバー・キャンパス教育系大学院教育学（Educational Studies）専攻における学位プログラムの比較考察」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第8巻，83－102頁。
- ・ 平田淳（2024d）「トロント大学オンタリオ教育研究所におけるM.Ed.プログラムの運用実態に関する一考察－LHAE研究科ELP専攻を題材に－」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第8巻，115－133頁。
- ・ 平田淳（2024e）「ブリティッシュ・コロンビア大学バンクーバー・キャンパス教育系大学院学位プログラムの諸特徴」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第8巻，63－82頁。
- ・ 平田淳（2024f）「ブリティッシュ・コロンビア大学オカナガン・キャンパス「オカナガン教育スクール」における大学院学位プログラムに関する一考察」『佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要』第8巻，103－114頁。

#### 【附記】

- ・ 本稿は，独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（基盤研究（C）（一般））「JSPS 科研費 JP18K02283」の研究成果の一部である。

（2025年1月31日 受理）